

第三者評価結果

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成

		第三者評価結果
【A1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体的な計画を作成している	a
<p>・全体的な計画は、「にじいろ子ども理念」に基づき、保育の基本方針、目標、または、保育指針に示された発達過程、ねらい、内容が保育園生活の全体を通して総合的に展開されるように作成している。</p> <p>・本所で作成されている全体的な計画を基に、地域の実態や地域の子育て支援、また、園の特徴とする保育についても取り入れるようにしている。地域は、自然がまだまだ残るところなので子育てしやすく、自然を生かした保育を展開している。</p> <p>・年間計画を作成する時に、全体的な計画を確認しながら進め、特色を具体的に落とし込めるようにしている。4月に入り、全体的な計画から指導計画について、乳児・幼児会議では月案を含めて毎月、方針を話し合っている。</p>		

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

【A2】	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	a
<p>・建物自体が新しく、子どもにとって明るく清潔で安全な環境であり、室内の温度、湿度等は、常に表示され快適な空間で保育が保たれている。各保育室はベランダに面して大きな窓があり採光も良く、テラスに柵があるので安全に開け換気をすることができている。また、家具や遊具の配置についても、活動内容に応じて変更、移動している。</p> <p>・0歳、1歳児クラスは、生活の場と遊びの場を分けて保育している。0歳児は、ゆったりと落ち着ける家庭的な環境も取り入れ量が数かかっている。幼児クラスはパーティションで区切り使用することができる。</p> <p>・安全点検チェック表によって各クラスにおいて毎日の確認を行っている。園内外の安全確認に努めており、園庭は砂場のみで遊具などは置かれていない。</p>		

		第三者評価結果
【A3】	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている	a
<p>・少人数制の保育なので、子ども一人ひとりに寄り添った保育を展開している。</p> <p>・保育園全体の取り組みとして「優しく丁寧な保育」を基本とし、乳児組は愛着関係をしっかりと行うことが、信頼関係を築く基と考えている。</p> <p>・幼児組は、教育の部分も占めているので、「かがくの心を育てる」という意味においても、ものごとをあらゆる角度から見れるように考える力を養う保育を展開している。</p> <p>・言葉かけについて職員同士で振り返りをするようにしており、やさしい気持ちを語りかけることを大切にしている。名前を呼び捨てにはしないことなどを基本としている。</p>		
【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている	a
<p>・子ども一人ひとりの年齢や発達を見極めながら、着替え、食事、排せつなどの基本的な生活習慣を身に付けられるように援助している。</p> <p>・入園時から個人マークをロッカー、靴箱、靴下入れなどに示し、0歳後半になると自分の場所や持ち物をわかるようになるので靴下などを自分で取り出すことができるように援助している。子どものやりたい気持ちやサインを見逃さないように努めている。</p> <p>・幼児はトイレでスリッパを使用しているため、置き場所を分かりやすく示し、意識できるようにしている。次に使う人のことを考えながら揃えることを伝え、思いやりやさしさを持って行動することの大切さが理解できるように援助している。年齢に応じて、指導計画に沿って担任を中心に食事の姿勢や食具の持ち方など食事のマナーについても伝えている。</p>		

【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している	a
<p>・各クラスにおいて子どもの発達など状況に応じて環境設定を工夫し可動式家具の配置や、絵本など季節も考慮し定期的に見直しを行っている。玩具は手に取りやすい高さの棚に置き、写真で場所を示し片付けもしやすく工夫しているほか、絵本やままごとコーナーなどを設定し、集中して遊べるようにしている。乳児中心に手作りの玩具も揃えており、各クラスで消毒し布製は土曜日に洗濯して清潔に保つようになっている。</p> <p>・クラスによっては玩具の数や遊び方などに課題もあり引き続き見直しに力を入れている。</p> <p>・体操、音楽、ダンスを取り入れ、日常的に楽器にふれたり劇あそびなども行い、子どもが様々な表現活動に取り組みできるようにしており、絵本、歌、手遊びは毎月決めて繰り返し伝え、クラスだよりで保護者にも知らせている。</p> <p>・園庭、公園、川沿いを散歩など自然に親しむことのできる環境を活かし、外遊びの時間を多く取り入れている。散歩ガイドを作成し職員間で共有のうえ、安全に配慮しながら出かけている。近隣の協力があって畑でのミカン狩りをするなどの体験を持つこともできている。</p> <p>・絵本ボランティア、交通安全指導、消防訓練など地域との取り組みが行われており、敬老の日、正月などにも交流をしているが、今年度はコロナ禍にあり中止している。</p>		
		第三者評価結果
【A6】	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・0歳児は月齢差に配慮し、発達に応じた対応を心がけている。担当制により食事、睡眠、あそびなどに1対1で関り愛着関係を保ちながら心地よく過ごせるようにしている。</p> <p>・食事と遊びのスペースを仕切り、安全に遊べるようにマット、畳を敷き家具の配置にも配慮している。保育室はテラスに面しているので、外気浴や水遊びを行ったり、園庭で遊ぶ他のクラスの様子を見て楽しんだりしている。玩具は午睡中に消毒し、午後の使用分は夕方に行い衛生管理を行っている。</p> <p>・本年度は自粛期間中を利用して、子どもの発達に合わせた手作り玩具を多く準備することができている。</p>		
【A7】	A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・探索活動が盛んになり、友達との関りも増え活発になるため、子どもの動きに注意し見守りを行っている。朝の合同保育では、1歳児と2歳児が一緒に過しているため、ケガがにつながらないように見守りに努めている。</p> <p>・子ども同士のトラブルに際してはお互いの気持ちを大切に仲立ちし、かなしいよ、あぶないよ、と気持ちを知らせるようにしている。保育士は現在マスクを着用しているため、目を見て語り掛けることを心がけている。</p> <p>・登降園時には保護者と会話するように努め、連絡帳でも子どもの体調や家庭での様子について共有できるようにしている。保護者は消毒後に保育室に入ることが可能であり、体調管理表を記録してもらい、体調の把握に努めている。</p>		
【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・3歳児は基本的な生活習慣の自立に向けて、上手にできた時には褒めて意欲につなげ、朝や帰りの身支度なども自分のできるように援助している。ごっこ遊び、見立てあそびなどが盛んになり保育士も一緒に入り遊びが広がるようにしている。</p> <p>・4歳児では想像力も豊かになり友だちの気持ちにも気づき、一緒に楽しく遊べるようになっており、子どもの発想や意見を取り入れながら遊びや活動を行っている。</p> <p>・今年度の夏祭り、運動会は子どもだけで行い、発表会は保護者1名のみ参加し行うことができている。行事では年長児クラスが中心になり取り組むことが多く、子どもの興味関心に合わせてテーマなどを一緒に考えたり、好きな絵本を取り入れたり話し合いの機会を多く持つようになっている。毎月の制作活動による作品は、保育室内や廊下に飾り、他のクラスの子どもたちや保護者に見てもらえるようにしている。</p> <p>・4歳、5歳児は当番活動として朝の会の司会、献立を文字で書いて発表するなど決められた役割に取り組み、友だちの前で発表することなどができるように援助している。日頃より、手紙ごっこ、かるた遊びなどを通して文字に触れる機会を持つようになっている。</p> <p>・5歳児は、目標を持って物事に挑戦し、達成に向け友達と協力しながら集団での関わりを楽しむ保育を行っている。</p> <p>・年間計画では、折り紙で毎月季節の物を折ること、保育士の説明をどこまで理解しながら折れるかを挑戦、目標にしている。縄跳び、ドッチボール、ピアノ、劇遊びなどに取り組んでいる。</p> <p>・幼児クラスも連絡帳を使用しており、お迎え時間や休み中の出来事の記入などに活用してもらっている。定期的に園からも記入するように努めており、日々のエピソードなどを保護者伝えるようにしている。</p>		

		第三者評価結果
【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園内はバリアフリーであり障害に対応できる環境になっている。 ・配慮が必要な子どもの保育にあたっては、個別の支援計画を作成し、個別的配慮を行いながらクラスの中で楽しく日常生活を送れるようにしている。臨床心理の巡回相談を受ける機会も設けているが、コロナ禍にあり現在は中止している。 ・子どもの日々の様子を保護者と共有し、必要に応じて専門機関と連携を行えるように取り組んでいる。 ・研修に参加し必要な知識や情報を得ることが出来る機会を設けている。子どもの様子を職員間で共有し、対応について話し合い共通の認識のもとで対応できるように努めている。 		
【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・長時間保育の子どもたちが落ち着いて過ごせるように、0歳児はそのままクラスで過ごし、その他のクラスも17時半までは乳児と幼児クラスそれぞれで遊べるように配慮している。人数が少なくなると17時半を目安に合同保育時間とし18時に捕食を提供している。 ・人数が少なくなること、子どもが寂しさを感じたり不安にならないように、異年齢での関りが持てるように援助している。日中とはちがう玩具を提供し、楽しく過ごせるように工夫している。 ・日中の子どもの様子は、各クラスの伝達表と口頭によって引継ぎし、担任以外の保育士でもお迎えの保護者に子どもの様子を伝えられるように取り組んでいる。 		
【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた取り組みは、「就学に向けての取り組み10の姿」を基に子どもたちが日々生活の中で経験、体験する保育を重ねている。小学校との連携は、区主催の年長児担当者連絡会議や幼保小連絡会議への参加、小学校との交流などの機会が設けられているが、今年度はコロナ禍にあり行事への参加や見学なども中止されている。 ・小学校との交流が中止されている中で、多摩区より区内公立小学校すべての校内の紹介映像が届けられ、年長クラスの子どもたちは自分の就学先小学校のデータを見ることができた。校内や授業の様子、ランドセルなどの荷物を置く場所などが紹介された映像を見ることで、子どもが小学校での生活をイメージし期待を持てるような取り組みである。 ・保育所児童保育要録は担任が作成し園長が最終確認後、各小学校に送られている。要録を確認後、小学校から連絡や訪問を受ける場合もあり、子どもについて詳しく伝えるように努めている。 		
A-1-(3) 健康管理		第三者評価結果
【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を中心に子どもの健康管理に努めており、朝は各クラスをまわり視診によって子どもの健康状態を確認し、午後は0歳児を中心に様子を確認している。各クラスの伝達表には、コロナ禍における取り組みとして体調管理表A M, P Mチェック欄を設けており、担任からも子どもの健康状態について話を聞いて共有に努めている。 ・保健計画に基づき、年齢に応じて分かりやすい指導を行い健康について関心を持ち病気や感染症、ケガなどが防止できるように取り組んでいる。乳児クラスの手洗い指導では手洗いの歌や絵本などを使用して楽しみながら正しい手洗いが身につくように指導し、咳エチケットについても伝えている。また、職員に向けては、ミーティングノートに体調、体温を記録してもらい確認できるようにしている。 ・ほけんだより、掲示などによって子どもの健康や感染症予防などについて保護者に伝えるとともに、送迎時に保護者からの質問や相談にも都度対応している。 		
【A13】	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園医との連携により、0・1歳児健診(2ヶ月に1回)、全園児健康診断(年3回)を実施し、結果は「けんこうの記録」に記載している。「けんこうの記録」ノートを作り入園から卒園までの健康に関する記録(予防接種の欄も設けられている)が、すべて記載され計測から受診までその都度保護者印を設けたチェック欄がある。歯科検診を年1回実施し、歯磨き指導にも取り組んでいるが、感染拡大防止対策により歯磨き指導は来年度に予定している。 ・今年度はコロナ禍にあり集団にむけての保健指導は控えているが、手洗い指導以外にも自分の体に興味を持ってもらえるように、人体についても興味を持ってもらえるような指導などを計画している。 		

【A14】	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児に対しては、除去食の提供を可能としており、除去食の申請を行い、健康管理委員会に申請書を提出することになっている。審議の結果、除去食の必要性があり、園対応出来る場合は、主治医と相談しながら対応を行い、定期的に除去食変更・継続申請書を提出し、除去対応の改善見直しをしている。 ・除去食提供の子どもに対しては、目視で理解できるよう専用のトレー、食器を使用し、アレルギー食品名がトレーに記載されており他の子ども達と判別できるよう配慮している。 ・医療的ケアが必要なケースは、医療的ケアに関する主治医意見書及び医療的ケアに関する指示書が必要となる。 ・慢性疾患の子どもに対しては、保護者と連絡を密に取りながら保育を進めている。 		

A-1-(4) 食事

第三者評価結果

【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画を作成し、栄養士を中心に年齢に応じた目標に沿って食育活動を実施している。幼児クラスを中心に野菜の栽培活動を行い、水やりから観察、収穫までを体験し、食材にふれることで食に興味をもつことができるように取り組んでいる。近隣には柿や梨畑もあるので散歩で通ることもあり身近に感じることができている。今年度はコロナ禍にありクッキング活動は中止されていたが、クリスマスには自分のケーキを自由に飾りつけるなどの工夫や、トウモロコシの皮むき、三色栄養群を伝えるなど可能なことに取り組んでいる。栄養士は子どもの発達に合わせ食育を進めるように取り組んでいる。 ・給食で使用する食器はすべて陶器を使用し、大切に扱うことなども伝えられるようにしている。年齢に応じて食具の持ち方や姿勢などの食事のマナーについても伝え、友だちと一緒に楽しく食べることを大切にしている。 ・園玄関に献立、毎日の給食サンプル展示している。毎月の給食日よりでは、食育活動について、給食レシピなどを掲載し取り組みの様子を保護者に伝えている。 		

【A16】	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・本社作成の献立を基本に、季節の行事や誕生日会では園独自の献立を作成している。季節の食材を取り入れ、和食中心として丁寧に汁をとり薄味での提供を心がけており、美味しく楽しく食べてもらえるように取り組んでいる。 ・感染拡大防止対策により、給食の様子を確認することは中止しているが、0歳児の離乳食では移行期などに確認するようにしている。クラスの様子や子どもの喫食状況は毎月の給食会議で共有し、確認している。 ・誕生日会は、子どもに人気のあるメニューで、誕生日の子どもたちの食事には名前を書いた旗をたて、おやつにはケーキを提供するなど、子どもに喜んでもらえるように様々な工夫をしている。クリスマス、ハロウィン、日本の伝統行事などでは行事食を提供し型ぬきなどを使用し飾りつけでも楽しんでもらえるようにしている。 ・保護者アンケートの「園で提供される食事・おやつ」についての設問では、大変高い満足度が聞かれており、感謝の声も多い。 ・給食室では衛生管理に関するマニュアルに基づき、衛生管理を適切に行っている。 		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

第三者評価結果

【A17】	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳と口頭によって日々の子どもの様子について保護者と共有に努めており、必要に応じて電話も利用している。 ・年間計画にも含まれているが、クラス懇談会年2回、個人面談年2回、保育参観・参加年2回それぞれ実施し、子どもの成長を話し合い共有できるように、また、保護者の理解が得られるように取り組んでいる。個人面談では2週間期間を設け、希望日を選んでもらえるようにするなど保護者の就労状況に配慮している。 ・えんだより、クラスだよりでは、毎月の予定、目標と取り組みの様子などについて伝え、園内には当日の活動内容をクラス前に掲示して送迎時に保護者に見てもらえるようにしている。活動内容によって写真も掲示しわかりやすく伝えるように工夫している。 		

A-2-(2) 保護者等の支援

【A18】	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と会話の機会を持つように心がけ、子どもの姿を伝えあいながら信頼関係が築けるように心がけている。 ・保護者の就労の事情に配慮し、急な残業が入った場合などにも快く対応するように努めている。 ・保護者支援が必要な場合には、相談を受けたり、園だけでは解決できない場合は、臨床心理士や地域見守りセンター（保健師）等と共有しながら取り組んでいる。相談内容は、臨床心理士の記録、報告、保育士の記録（児童票）に、園長も業務日誌に記入している。 		
【A19】	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・園内において、虐待等権利侵害の疑いのある子どもは今のところいないが、もしも発見した場合は、速やかに状況把握に努める体制としている。 ・人権について職員会議で取り上げ、虐待についての早期発見、連携先などを確認する機会を設け、対応マニュアルについても周知に努めている。事例などについては、本社からのメールを回覧しミーティングノートで確認できるようにしている。 ・子ども支援、保護者支援は区の見守り支援センターなどの関係機関と情報を共有するとともに園内においても共有し対応できるように努めている。 		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

第三者評価結果

【A20】	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている	b
<ul style="list-style-type: none"> ・週案、月案、個別指導案、年間計画、全体的な計画のすべてに自己評価の欄が設けられており、各クラスにおいて決められた期間での振り返りを行い、次の計画に反映し、保育の質の向上にむけて取り組んでいる。主任、園長確認欄が設けられており、閲欄後は、アドバイス、助言をしたり、園全体の質の向上に繋がられるようにしている。 ・職員会議、園内研修など園の自己評価、保育ガイドの見直しに取り組んでいる。 ・園の自己評価は、年度末に職員全体で評価し合い次年度の計画に改善、実行出来るように取り組んでいる。 ・昨年度より、職員一人ひとりが保育の振り返りについて、具体的に課題を話し合う機会を設けている。 ・振り返る力、見通す力、想像する力、実行、挑戦する力を強めていくことを課題としている。 		